施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策№	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策№	5-3	施策名	生涯スポーツの充実	施策主管課長名	小林　隆浩
関係課	生涯学習課					

1．施策の目的

対象	意図
A 地域 B 町民	A 町民がスポーツに参加する機会を継続して提供している B 日頃から健康維持と体力向上に励んでいる

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A スポーツ施設の利用者数（増加）（現状値：H30時点）	千人	119.87	120.02	120.07	120.12	120.17	120.22
				55.86	81.36	79.4	72.71	71.33
②	B 実際にスポーツを行っている町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	35.1	39.8	40.4	40.9	41.3	41.8
				37.3	34.5	43	36	35.5
③								
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、令和４年度に増加したものの全体としては下降傾向にあり、全ての年度で目標値に到達しなかった。令和７年度は対前年度比約1,400人の減、目標値には約49,000人届かなかった。 コロナ禍以降、一時的に施設利用の増加があったものの回復までには至らず、令和５年度以降の大規模施設の改修工事等により施設利用の減少に拍車がかかったものと考えられる。
②	計画期間における実績値は、令和５年度は目標値に到達したものの全体としてはほぼ横ばいとなっており、その他の年度は目標値に到達しなかった。令和７年度は対前年度比0.5ポイント下回り、目標値には6.3ポイント達しなかった。 ふれあいの森公園陸上競技場の改修工事に伴う施設利用制限等により、各種スポーツが行われなかったことが要因と考えられる。併せて、例年の猛暑による日常生活での外出制限、運動制限により、スポーツの機会が減少した一因もあったものと推測される。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・各学校体育施設における利用後の報告手段をスマートフォン等によるデジタル方式へ移行するなど利用環境を整備し、利便性の向上を図ることができた。また、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツ教室を開催し、町民の運動習慣の定着化を促進した。
・ふれあいの森公園等整備利活用基本構想に基づき、陸上競技場のトラックを全天候型舗装へと改修したことで、多様な競技やトレーニングに対応可能な質の高い運動環境を実現した。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、生涯学習・スポーツの充実（施策４-２）に引き継がれる。
住民のスポーツ機会の振興と健康増進を図るため、総合型地域スポーツクラブ「会津美里クラブ衆」との連携を密にし、生涯スポーツに親しめる機会の拡大に努める。
また、施設整備面では、「ふれあいの森公園等整備利活用基本構想」及び「会津美里町社会体育施設整理計画」に基づき、各施設の老朽化状況等を踏まえた修繕・改修の優先順位と時期を精査し、計画的な維持管理を推進する。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4631	スポーツ活動推進事業	3,984	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4637	生涯スポーツ振興事業	1,896	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	4661	体育施設管理運営事業	340,898	拡充	現状維持	②生産性改善	○